



日本赤十字九州国際看護大学 平成30年度 第7回国際フォーラム

いま、日台の看護職養成は？ グローバル化の波と人口動態の激変を受けて

日時： 平成30年9月7日（金） 9:00-12:00

場所： 講義室104 *通訳がつきます。

第I部：

講演「激変する日台社会の保健医療制度と看護教育—現状と課題—」

台湾の高齢化社会と長期ケア政策
国立台中科技大学看護学部学部長・教授

陳 筱瑀

台湾の保健医療制度と看護教育の現状と課題
国立台中科技大学看護学部看護学科学科長・教授

陳 夏蓮

日本の保健医療制度と看護教育の現状と課題
日本赤十字九州国際看護大学看護学部学部長・教授

中村光江

第II部：討論「日台社会の保健医療制度と看護教育—解決に向けて—」

司会 日本赤十字九州国際看護大学国際看護実践研究センター長 小川里美
スピーカー 陳 筱瑀 陳 夏蓮 中村光江

2007年、日本は世界に先駆けて、人類史上未曾有の超高齢社会に突入しました。2025年には高齢者人口がピークに達し、多死社会を迎えます。一方で、高齢者人口の増加率は鈍化するものの、65歳以下の人口は一貫して減少し続け、国全体の人口減少が続きます。

他方で、経済を中心とするグローバル化の急速な進展は、労働力の国際移動を拡大し、日本とフィリピン、インドネシア、ベトナム間の経済連携協定に基づく看護師の送り出しと受け入れや、台湾の看護師のアメリカ等への国際移動等、その影響を看護職にも及ぼしています。

このような人口動態の激的な変化と労働力のグローバル化を背景に、医療・福祉サービスの供給体制は再構築を迫られています。では、保健医療サービス体制およびその提供者である看護職の養成は、どのような変革が求められているのでしょうか。

本年度の国際フォーラムでは、日本と同様の変化がみられる台湾の看護研究者・教育者を招き、両国の実情と問題を共有し、激変する社会のニーズに対応できる看護師養成のための方策を探ります。

問い合わせ先：

日本赤十字九州国際看護大学 国際看護実践研究センター
811-4157 宗像市アスティ1-1 電話： 0940-35-7001（代表）

講師プロフィール

陳 筱瑀 (Hsiao-Yu Chen, PhD)



国立台中科技大学看護学部学部長・教授。中国学校看護協会会長、台湾台中市デイケアセンター評価委員会委員、台湾健康と高齢者にやさしい都市・台中市顧問、台湾看護師協会地域看護委員会理事会理事、台湾看護師協会国際連携事業委員会理事会理事、台湾看護教育協会学術委員会理事会理事、『学校看護』誌編集委員会委員。専門領域は地域看護、学校保健、リハビリテーション看護、長期ケア、看護理論、看護研究。論文には Chang, M. Y., Chen, H. Y., Cheng, M. L., & Liu, H. Y. (2017). Rebuilding life: investigating long-term home care needs of clients with spinal cord injuries. *The Journal of Nursing Research*, 25(4), 276-282. (SSCI) など多数。

陳 夏蓮 (Shiah Lian Chen, PhD)。



国立台中科技大学看護学部・看護学科学科長。台湾合同委員会保健医療の質向上運動高性能シミュレーション委員会顧問、台湾衛生福利部看護実務者評価・免許授与・資格認定特別委員会顧問、台湾衛生福利部査定・評価委員会台湾看護ケアセンター認定協会認定員、台湾衛生福利部疾病管理センター結核症例管理者評価・免許授与・資格認定専門家委員会顧問、台湾看護師協会研究委員会委員、台湾看護師協会国際連携・企画委員会理事会理事、台湾根拠に基づく看護協会研究開発委員会 VIP、台湾診療看護師 (NP) 協会編集理事会理事。専門領域は急性/慢性心肺看護、根拠に基づく看護、看護教育、看護教育、高等看護教育。論文は Hsu, Hsiu-Ying, Chang, Shu-Chen, Chang, Ai-Ling, Chen, S.L. (2017). Critical thinking disposition of nurse practitioners in Taiwan. *The Journal of Continuing Education in Nursing*, 48(9), 425-430. September 1, 2017. など多数。

中村光江 (Mitsue Nakamura, PhD)



日本赤十字九州国際看護大学看護学部学部長・教授。看護学博士。日本腎不全看護学会理事・編集委員会委員長・国際交流委員会副委員長、日本慢性看護学会評議員。専門は慢性看護学 エンド・オブ・ライフケア。中村光江：透析患者への終末期ケアにおける困難を伴う看護師の経験。日本赤十字看護大学大学院博士学位論文。2016。中村光江他「現場からの発信—事例研究に取り組もう—?研究方法をはっきりさせよう」『臨床透析』、27(13)、95-101. 2011。中村光江「現場からの発信—事例研究に取り組もう— 研究デザインをはっきりさせよう」『臨床透析』、27(8)、105-110. 2011。中村光江「現場からの発信—事例研究に取り組もう— 倫理的配慮をしよう」『臨床透析』、27(5)、92-97. 2011。中村光江「ドイツの病院施設におけるスピリチュアルケア」『秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻紀要』19(1)、77-83. 2011 など多数。